

第3学年2組 学級活動指導案

1. 日時・場所 平成30年12月5日(水) 5校時 (13:40~14:25) 3年2組教室
2. 議題「冬休み前思い出集会をしよう」

学級目標	みんな いいとこめがね いつも きょうカ にこにこ2組
------	-----------------------------

3. 議題について

(1) 児童の実態

3年2組の児童は、素直ではつらつとしていて、様々な活動に対して前向きに取り組むことができる。課題を挙げると、友達との間で問題が起こった時、多くの児童が、「先生、～さんが…をしてくれました。」と担任に解決を頼ってしまう。その時には、自分の気持ちを言葉で伝えることの大切さを伝え、自分たちで解決できる方法を少しずつ身に付け始めている。また、「進んで聞こうとする姿」にも課題がある。しかし周りには手本になる子もいるので、友達に関心をもって聞けるように支援している。多くの児童が友達と活動することが好きで、係活動では毎日のようにミニイベントを計画・実施して楽しんでいる。また、遠足に向けての準備では、見学コースを、互いの希望を認めながら決めていた。中には、自己中心的な言動や行動をとってしまう児童もいるが、そのような児童の気持ちに寄り添い、さりげなく手を差し伸べられる優しいクラスの雰囲気と、みんなで成長していこうとする姿が見られる。

学級目標を決める際、「『いいとこめがね』をかけると友達のいいところがたくさん見えてくる」「友達のいいところをたくさん見つけると素敵クラスになる」という児童の思いから、「いつも いいとこめがね みんな きょうカ にこにこ2組」という目標を決めた。この学級目標には、いつも友達のよさを見つけ、ほめ、励ますことを大切にして、誰もが安心できるクラスにしようという思いがこめられている。

学級会では、主に「集会をしよう」という議題で話し合ってきた。毎回、柱1の「遊びを決めよう」の話合いに時間がかかり、柱2の「どのように楽しむか(工夫)」についての話し合いがじっくりできなかった。出し合う→くらべる→まとめるの流れがよく理解できていなかったことや、反対意見や、めあてからそれた意見が多く出たことが原因である。学級会を重ねるごとに、子どもたち自身がそれらの反省点に気づき、少しずつではあるが、改善案を出したり、めあてにそった意見を出したりして決定することができるようになってきた。学級会のふり返しカードには、「まとめる意見を出して、時間内に決めたい」「くらべるのところを大事にして、みんなをなっとくさせたい」「2組に足りないのは賛成する力」というような課題を意識した内容もあれば、「みんながめあてにそって意見を言って決まって良かった」「自分の考えた遊びにならなくても楽しく集会をやりたい」といった、達成感や実践への意欲を高めている内容のものもあった。これらの積み重ねてきた経験を生かし、本活動では、柱2の内容である「どのように楽しむか(工夫)」についてを話し合い、めあてを意識して決めていけるように支援したい。また、自分たちで決めた工夫にそって準備をすることを通して、さらに子ども同士のかかわりが強まり、広がっていくことを期待している。

(2) 議題選定の理由

本議題は、「冬休み前思い出集会をしよう」である。後期になり、ますます友達とのかかわりが広がる一方で、11月前半には、「まだあまりかかわっていない人とも協力して遊びたい」という思いから生まれた集会を行った。実践を重ねてきた児童は、季節やタイミングを意識して、クラス集会を開きたいという思いをにこぽかボックス（議題箱）に寄せるようになってきている。冬のこの時期、「冬休み前の思い出になる集会をしたい」という意見が寄せられた。提案者が考える「思い出になる」というのは、「みんなが楽しめる」ということ、また、冬を意識し、「寒い冬にみんなで体を動かしてぽかぽかになれる遊びをしたい」という願いがこめられている。本活動では、今まで出てきた課題である「反対意見ばかり出すのではなく改善意見も出すこと」や「めあてを意識して話し合いをすること」を意識できるようにし、みんなにとっても自分にとっても良い方法を見つけていけるようにしたい。

今回の学級会では、柱を1本にし、「どのように楽しむか（工夫）」を話し合う。「冬休み前にみんなが楽しめて思い出に残る」や「体がぽかぽかになれる」というキーワード（めあて）を意識して工夫を考えることによって、今まで以上に実践への意欲を高め、どの子ども達成感をもてる実践が行えるようにしていきたい。

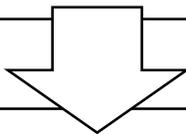
4. 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級の生活上の問題に関心をもち、他の児童と協力して意欲的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しい学級生活をつくるために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、協力し合っ て実践している。	みんなで学級生活をつくることの大切さや学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の計画的な進め方などについて理解している。

5. めざす子どもの姿に迫るための手立て

研究テーマ

互いのよさを生かし合い、一人一人が輝く特別活動
 ～「なすことによって学ぶ」共に歩む姿をめざして～



中学年のめざす子どもの姿

- 自分の思いや考えを進んで伝える子【自分に自信をもてる姿】
- 互いのよさを認め合いながら活動する子【仲間と共に歩もうとする姿】
- 自分たちの思いを生かしながら学級生活をよりよくしようとする子【自分たちの生活は自分たちでつくっていかうとする姿】

【自分の思いや考えを進んで伝える子】（自分）

○学級会ノートの活用（事前・学級会）

課題に対する自分の考えを一人一人がしっかりもって学級会に臨めるように議題、提案理由、話合いのめあてを伝え、あらかじめ考えを記入しておく。現段階での、自分やクラスの課題に気付けるように、児童の考えやふり返りには毎回励ましのコメントを入れる。

○話合い活動の進め方台本の活用（事前・学級会）

誰もが自信をもって話合い活動への準備ができるように、話合いの手順や言葉の例が書かれている台本を用意する。また、司会グループが自信をもって話合いを進行できるように、準備の際に使用する。

○話合いの可視化（学級会）

話合いの流れがつかみやすいように、出し合う・くらべる・まとめるのどこを話し合っているのかがよく分かる提示をする。また、出された意見は短冊に書き、顔写真カードや賛成反対マークを使用する。

○実践活動（事後）

集いのねらいや一人一人のめあてを意識しながら活動することを通して、自分たちで決めたことを自分たちの力でやり遂げられるように役割分担をはっきりする。

【互いのよさを認め合いながら活動する子】（仲間）

○学級会ノートの活用（事前）

自分たちの学級会がどうだったか、課題やうまくいったところはどこかをいつもふり返りながら次につなげられるように、学級会ノートに話合い活動を終えての自己評価、今日のキラリさん、ふり返りを書く。事前の支援同様に、担任からの励ましのコメントを入れる。

○顔写真カード・賛成反対 顔マークの活用（学級会）

一人一人が学級会に参加している実感がもてるように、顔写真カードや賛成反対マークを活用し、話合いの可視化にもつなげる。

○「今日のキラリさん」の設定（学級会）

互いのよさを見つけ、友達同士が高め合える大切な機会として「今日のキラリさん」を行う。認められた子ども、認められた子どもほめ、その内容についても担任が価値付けしていく。

【自分たちの思いを生かしながら学級生活をよりよくしようとする子】（生活）

○司会グループへの指導（事前）

司会や記録の内容に期待感をもち、学級会を自分たちでつくっていく意識をもてるように、準備の時間を設定する。そうすることで自信をもって会に参加することができると思う。

○担任の助言（事前・学級会）

提案者やめあてを意識した話合いができるように、児童の実態をよくとらえ、適切なタイミングで助言をする。

○ふり返り活動（事後・常時）

学級会だけでなく、その後の実践や日頃の様々な活動でも一人一人が輝いてほしいと願う。個々の思いを共有して、よかった点や課題に気付けるように、様々な活動でふり返りの場を設定する。また、個々の気づきをみんなで共有できるよう、一人一人のふり返り用紙を教室内に掲示する。

6. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	活動内容	支援(○)と評価(☆)
11月上旬	・「にこぼかボックス」に「冬休み前、みんなの思い出になるような集会をしたい」という思いが寄せられる。	○事前に話し合い活動の意味について確認し、どんな集会にしたいのか考えて意見を入れるように促しておく。 ☆学級の充実と向上に関心を持ち、次の学級会で話し合いについて主体的に考え、実践へ向けて行動しようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
11月14日(水) 中休み	・「にこぼかボックス」から議題を集め、話し合いの議題を選ぶ。	○提案者の思いを取り入れ、今回の議題が「みんなが楽しんで体がぼかぼかになれるもの」であることを確認する。 ☆学級会へ向け、司会グループを中心に学級目標に近づけるような議題を選定するように助言する。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
11月19日(月) 中休み	・司会グループと提案者で柱と話し合いのめあてを決める。また、司会グループの役割分担をする。 ・司会1・指名司会1 ・黒板記録2 ・ノート記録1	○学級会の日時を伝える。 ○今回の学級会では何を大切にして話し合いたいかを考えるように促す。 ○それぞれの役割を確認し、話し合いの流れをイメージできるように準備する。 ☆話し合いに向けて、進んで準備に取り組もうとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度) ☆教師とともに話し合いの進め方や話し合いのめあてを考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践) ☆話し合い活動の準備や進め方を理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解)
11月20日(火) 帰りの会	・学級会で話し合う議題とめあて、提案者の思いを学級全体に伝える。	○話し合う内容や提案者の思いを伝え、思いを共有できるようにする。 ☆課題に対して関心をもっている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
11月21日(水) 朝の会	・「冬休み思い出集会」で何をするか(遊び)の自分の考えを学級会ノートに記入する。	○一人一人が話し合いのめあてを意識した自分の考えを書けるように助言する。 ☆提案理由やめあてに合った自分の考えを記入している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
11月28日(水) 学級会	・「冬休み思い出集会」で何をするか(遊び)の学級会を行う。	○出された意見の中でどれがめあてに沿っている遊びなのかを考えられるようにする。 ○話し合いの見通しを自分なりにもてるようにする。 ☆自分の考えを進んで伝えようとし、また友達の考えと自分の考えを比べようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
11月30日(金) 朝の会	・「遊びをどのように工夫するか(工夫①・工夫②に分ける)の自分の考えを学級会ノートに記入する。	○一人一人が話し合いのめあてを意識した自分の考えを書けるように助言する。 ☆提案理由やめあてに合った自分の考えを記入している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
12月 3日(月) 朝の会	・柱2(工夫①・工夫②)について、「出し合う」を行う。	○一人一人が話し合いのめあてを意識した自分の考えを伝えられるように助言する。 ☆提案理由やめあてに合った自分の考えを伝えようとしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)

(2) 本時の活動

①ねらい

「冬休み前思い出集会」で、「みんなが楽しめる」「体がぼかぼかになる」工夫を話し合い、決める。

②活動計画

児童の活動	支援(○)と評価(☆)
<p>1. はじめの言葉</p> <p>2. 司会グループの紹介</p> <p>3. 議題の確認 「冬休み前思い出集会をしよう」</p> <p>4. 提案理由の確認 「冬休み前に、みんなが楽しめて思い出になる集会をしたいと思います。冬で寒いけど体がぼかぼかになる遊びをしたいと思いますからです。」</p> <p>5. めあての確認 (内容) みんなが楽しめて体がぼかぼかになる集会をしよう (技能) 友だちの考えを大切に話し合いをしよう</p> <p>6. 決まっていることの確認 ・日時・場所 ・遊びはリレー ・準備の期間</p> <p>7. 話し合い ①「みんなが楽しめる」工夫を考えよう ・くらべる ・まとめる ②「体がぼかぼかになる」工夫を考えよう ・くらべる ・まとめる</p> <p>8. 決まったことの確認</p> <p>9. 今日のキラリさん</p> <p>10. 振り返り</p> <p>11. 先生の話</p> <p>12. 終わりの言葉</p>	<p>○互いの意見をよく聴いたり相談したりしやすい席にする。また、司会グループの配置を工夫する。</p> <p>○司会は進行台本を見ながら進めるようにするが、進め方でつまずいた時には、すぐに近くで助言する。</p> <p>○決まっていることやプログラムはあらかじめ画用紙に書いて児童が見えるところに掲示しておく。</p> <p>○「出し合う」を事前に行っておく。</p> <p>○提案者に対し、提案理由にしっかり思いが乗るように、事前に確認する。</p> <p>○話し合いが円滑に進むように、事前に学級会ノートに書かれた工夫をあらかじめ短冊に書いておく。また、「準備の工夫」と「当日の工夫」が分かるようにしておく。</p> <p>○できるだけ自分たちで決定できるように見守るが、話し合いが行き詰まったり、めあてからそれたりした時には適切な助言をする。</p> <p>○本時の振り返りや今後の活動に生かせるよう、友達の意見をよく聞こうとしたり、自分の思いを伝えようとしたりする姿を見取る。</p> <p>☆司会グループとして司会や記録などの役割を果たしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>☆みんなが楽しめて体がぼかぼかになる、よりよい工夫を考え、進んで話し合っている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>○今日の話合いの良かったところを中心に考えられるようにする。</p> <p>○意欲をもって実践に向かえるように、司会グループのがんばっていた点、めあてや友達、学級全体を意識した意見や態度などをほめる。</p>

④板書計画

第六回 学級会

議題 冬休み前思い出集会をしよう

ていあん理由 「冬休み前にみんなが楽しめて思い出しになる集会をしたい。冬で寒いけど体がぼかぼかになる遊びをしたいと思ったから。」

めあて (内容) みんなが楽しめて体がぼかぼかになる集会をしよう
(技能) 友達の考えを大切にして話し合いをしよう

話し合つこと ① みんなが楽しめて体がぼかぼかになれる集会の工夫を考えよう

①みんなが楽しめる工夫

- ◎ バランスのよいチームをつくる (じゅんび) **決定済**
- ・ チームでおそろいの物を作る (じゅんび)
- ・ チームの名前を決める (じゅんび)
- ・ しょうがいぶつリレーにする (じゅんび・当田)
- ・ 2組の歌を歌う (当田)
- ・ いいことタイムをする (当田)

②体がぼかぼかになる工夫

- ・ 準備運動をする (当田)
- ・ 走るきよりを長くする (当田)
- ・ 体を動かしておうえん (当田)

まとめる ← くらべる ← 出し合う

まとめる ← くらべる ← 出し合う

決まったこと

○ 十二月十四日 (金)
四時間目
○ 場所… 体育館
○ 遊びはリレー
○ 準備の期間

今日のキラリさん

ふり返し

先生から

終わりの言葉

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	支援 (○) と評価 (☆)
12月6日(木) 朝の会	役割分担を決める。	○これまでの経験を生かし、冬休み前思い出集会を開くために必要な役割を考えるよう助言し、全員で協力して行うように声をかける。
12月6日(木) ～13日(木) 朝・中休み	役割ごとに準備をする。	○「みんなが楽しめる工夫」を意識して準備を工夫できるように助言したり途中経過を確認したりする。 ○協力して準備が進められるように声をかける。 ☆集会に向けて決まった役割の準備を協力して進めている。(集団の一員としての思考・判断・実践)
12月14日(金) 4校時	集会を行う。	○集会のめあてを掲示し、意識できるようにする。 ○安全に楽しく取り組めるように見守る。必要に応じて助言する。 ☆自分の役割や学級としてのよりよい方法などについて考え、判断し、協力し合って実践している。(集団の一員としての思考・判断・実践)
12月14日(金) 帰りの会	実践後のふり返しをする。	○めあてに沿った実践ができたかということ意識してふり返しカードに感想を書く。 ☆活動に対する、自分や学級全体としての取組をふり返し、集会の意義を理解している。(集団活動や生活についての知識・理解)